

9月1日 岩手県が小釜川水門 現場見学会を開催

9月1日(土)、岩手県が施工中の「小釜川水門」の概成に先立ち、現場見学会が開かれ、自治会関係者や大槌高校の生徒ら18名が参加しました。参加者は、工事の概要や進捗状況、自動閉鎖システムなどの説明を聞いた後、水門ゲートの作動を見学し、水門の役割や津波対策について理解を深めました。見学会の最後には、水門本体へ参加者が自由にメッセージを書き込み、「町を守ってほしい」という願いや、施工業者への感謝の気持ちなど、心温まる言葉が刻まれました。



9月8日 公民館を新たな会場に300人集う ~海と森の映画祭2018~

今年で第4回目となる、「吉里吉里海と森の映画祭」が9月8日(土)、吉里吉里公民館の屋外を会場に開催されました。夜間、屋外での映画の上映をメインとするこのイベントには、ゲストとして映画監督の飯塚健氏が出演。同監督の作品「笑う招き猫」が上映されたほか、トークショーが行われました。その他、ステージではフラダンスや地元アーティストのライブが行われ、会場には300人以上のお客さんが集まり、にぎわいを見せました。



9月9日 6歳から100歳までが参加 ~数独腕試し大会~

9月9日(日)、町内外から「数独」の愛好者が一堂に会し、自分の実力を試す機会として、数独腕試し大会が大槌町を会場に開催されました。数独とは、数字を使ったパズルで、子どもから大人まで頭を使い一緒に楽しめる遊びとして町内でも親しまれています。今大会では、個人の実力診断テストの部と、チームによる対抗戦の部が行われ、当日は89名の参加者が集い競技しました。参加者中、女性の最高齢者は100歳、男性は94歳。最年少は6歳と、まさに世代を超えて競い合い、団結して勝ち抜き戦を楽しみました。



9月15日 おおつち敬老のつどい 客席に笑顔あふれる



町内の77歳、88歳、99歳の方々を招待し、長寿をお祝いする「おおつち敬老のつどい」が9月15日(土)、開催されました。式典には約100名が参加。招待者を代表し、77歳を迎えた岩間利夫さんが、「困難を乗り越えてきた人々の姿を見て、頑張らなければと思ってきた。健康で明るく生活し、社会に貢献するために、仲間たちと一緒に努力していきたい」と挨拶しました。ステージでは、吉里吉里保育園、つつみこども園の子どもたちや、大槌高校吹奏楽部、老人クラブ連合会による祝いの演目が披露され、参加者の皆さんと一緒に歌ったり、踊ったりと、子どもたちとふれあいながら楽しみ、会場には笑顔があふれていました。



陸♥おおつちPR大使」委嘱状交

特集

大槌の魅力为全国に 「三陸♥おおつちPR大使」

9月21日(金)、「三陸♥おおつちPR大使」に就任する各界の著名な方々が出席し、委嘱状交付式が行われました。



あずさ 東あずささん (アスリートモデル) 大槌町出身。ファッションショーなどに多数出演。現在はアスリートモデルとしても活躍中。



アンダーパス underpath! MIKAさん (歌手) 大槌町出身。音楽ユニット「underpath!」のメンバーとして若手を拠点に活動。テレビ・ラジオでも活躍。



うさつか 兎塚エイジさん (イラストレーター) 大阪府出身。フリーランスのイラストレーター。おおつちパラエティションのキャラクターデザインを手掛けた。



おおとも けいし 大友啓史さん (映画監督) 岩手県出身。「るろうに剣心」「三月のライオン」などの話題作を手掛ける映画監督。



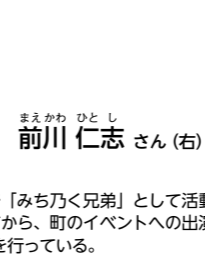
さとう み 佐藤ひろ美さん (元歌手・実業家) 大槌町出身。元歌手・声優で、現在はアーティストや声優のマネジメントを行うタレントプロダクション社長。



はなわ さん (タレント・歌手) 佐賀県出身の芸人。大槌町で自身が出演するラジオ収録を行い、町内の子どもたちとふれあうなど、町と関わりを持つ。



の ちゅうだい みち乃く兄弟 前川弘至さん(左) (歌手)



まえかわ ひとし 前川仁志さん(右)

大槌町出身。兄弟二人で「みち乃く兄弟」として活動する演歌歌手。震災以前から、町のイベントへの出演や町内コンサートの開催を行っている。

この「三陸♥おおつちPR大使」は、町出身者および町にゆかりのある方々の中から選ばれました。大槌町の魅力を全国に発信し、町のイメージアップを図るとともに、町の発展に寄与する提言等を得ることを目的として創設されたものです。それぞれが活躍する各分野の活動を通じて、PR活動や、SNSでの情報発信など、町を支援して頂きます。この日、会場には大使を委嘱された8名のうち5名が出席し、町長から委嘱状を手渡された後、就任の挨拶で大槌町に対する思いを述べました。当町出身のアスリートモデルの東あずささんは、「小さい頃は家族が営む漁

船によく乗っていた。自分が育った、美味しい魚が獲れる大槌の海を伝えていきたい。環境保護にも役立てたら」とふるさとへの愛着を語りました。また、タレントのはなわさんは、「お手紙を頂いた縁で大槌町と関わって以来、第2のふるさとと言っているほど愛着がある。復興のために、できる限りのことをしたい」と話し、大槌町復興支援ソングとして発売される「同じ時代に生まれた若者たち」を披露しました。三陸♥おおつちPR大使の皆さんは任期の1年間、大槌と全国各地をつなぐパイプ役を担います。